



# 津幡城

所在地：石川県河北郡津幡町清水

立地：丘陵頂部、標高15m

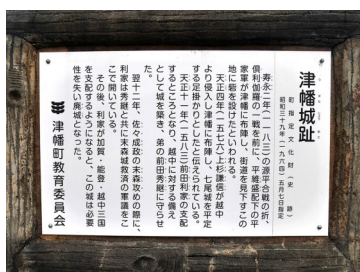
城主：平維盛指揮下の平家軍、上杉謙信、前田秀継  
時期：平安、戦国

見学時間（参考）：10分～20分



忠魂碑の建つ城跡西隅の物見台跡

北陸街道と能登往来の分岐点に位置する通称「オオニシヤマ（大西山）」と呼ばれる丘陵に占地する。城跡は明治20年と昭和40年の2回の津幡小学校建設工事に伴い主要部分はほとんど消滅した。西隅の高台に立つと金沢城下から倶利伽羅峠に至る北陸街道を遠望でき、監視のための物見台跡と考えられている。



津幡城址案内

明治4年作成の地籍図をもとに復元すると、主郭は物見台跡の北側平坦地と考えられ、その南に3つの曲輪、東・北・西の三方に腰曲輪が取り巻いていた。東に隣接する通称「ゲンジ山（源氏山）」との間に北向きの大手口があったようだ。寿永2年（1183）に平維盛指揮下の平家軍が布陣したと伝わる。天正4年（1576）には、上杉謙信が加賀に侵入し津幡に布陣した。



津幡城址碑  
津幡町長 久世嘉典書

天正11年（1583）、前田利家は金沢入城に際して弟の秀継を城主とし、加越国境の境目の城として築城が進んだと考えられる。翌12年、佐々成政に攻められた末森城を救援するため、津幡城で軍議を開く。同13年には佐々方の後退にあわせ、秀継は木舟城に移り役割を終えた津幡城は廃城となった。



主郭推定地



物見台跡から南方、旧津幡宿、金沢城下町を望む

いしかわ城郭カードに関する最新情報・お問い合わせ  
北陸城郭プロジェクト（フリー・スタイル有限会社）  
〒929-0335 石川県河北郡津幡町井上の荘3-9  
TEL. 076-204-6046 FAX. 076-289-3943  
E-MAIL. contact@j-sampo.com  
ホームページ城郭さんぽ <https://www.j-sampo.com/>